

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.2)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|----------------------------|--------|------------|
| 建物名称 | パナソニック フォト・ライティング 久美浜 株式会社 | 階数 | 地上1F |
| 建設地 | 京都府京丹後市久美浜町永留小字 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 都市計画区域外 | 平均居住人員 | 20 人 |
| 気候区分 | 地域区分Ⅲ | 年間使用時間 | 6,120 時間/年 |
| 建物用途 | 工場 | 評価の段階 | 基本設計段階評価 |
| 竣工年 | 2011年7月 予定 | 評価の実施日 | 2010年9月1日 |
| 敷地面積 | 29,173 m ² | 作成者 | 奥本光二 |
| 建築面積 | 2,037 m ² | 確認日 | 2010年10月1日 |
| 延床面積 | 2,037 m ² | 確認者 | 西口昌志 |

外観/パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値
②建築物の取組み
③上記+②以外のオンサイト手法
④上記+オフサイト手法

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.7

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.8

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.9

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|---|--|---|
| 総合 地球環境保全が人類共通の最重要課題のひとつであることを認識し、経営と環境との共存をベースに「環境によりやさしい企業活動を行う」ことを基本理念とする。 | | その他 注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。 |
| Q1 室内環境 精密機器を生産するので、床は静電タイル仕上とし、天井は吸音ボード貼仕上で、静かでクリーンな環境を保持できる室内環境とする。 | Q2 サービス性能 精密機器を生産するので室内環境は、明るくて清潔な仕上とし、メンテナンスを容易とする為、階高を高く設定し又、床には設備配管用ピットを設けて、生産設備機器のレイアウトが自由にできる設計をしている。 | Q3 室外環境(敷地内) 工場敷地内に存在する山地の自然林緑地を生かし、道路面には桜並木の緑地帯を設けて良好な景観を形成し、工場敷地内の緑化率は40%以上を確保している。 |
| LR1 エネルギー 高効率照明器具の採用。 | LR2 資源・マテリアル 敷地内駐車場及び道路造成時に7%再生骨材を路盤に使用する。 | LR3 敷地外環境 工場敷地道路側に桜並木等の緑地帯を設け環境にやさしい環境造りに貢献いたします。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい